

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	北里大学臨床教育研究棟	階数	地上5F
建設地	相模原市南区北里一丁目411-外48番 相模原市南区北里一丁目15番1号	構造	S造
用途地域	準工業地域, 準防火地域	平均居住人員	1,200 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2015年10月28日
敷地面積	8,652 m ²	作成者	(株)日建設
建築面積	3,976 m ²	確認日	2015年10月29日
延床面積	13,596 m ²	確認者	(株)日建設



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE1.3

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 88%
③上記+②以外の 88%
④上記+ 88%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> 建物の1階~4階に設けた吹抜けやトップライトによる、自然エネルギーを活かした空間構成 LED照明設備による消費電力の低減 エアコン室外機の高性能機器の採用による空調エネルギーの削減 キャンパス内の周辺環境に配慮した外構、外装計画及び屋上緑化 	0
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 人が集まりやすい場所をスポット空調とした快適なコミュニケーション空間づくり LED照明設備による消費電力の低減 エアコン室外機の高性能機器の採用による空調エネルギーの削減 エアコン、LED照明等の人感センサーによる照明制御 縦ルーバー及びロースクリンによる西日対策 	<h4>Q3 室外環境 (敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> 屋上緑化による周辺建物への配慮 既存建物の調和した外装・外構計画 将来計画を考慮した中庭の配置
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> 自然換気システム及び高効率熱源設備の採用 	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 建物の低層化による日影等の周辺敷地への配慮 駐車場の新設による適切な駐車台数の確保及び前面道路の渋滞緩和への寄与
<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> 共用部と専有部で仕上げ材料を変えたメリハリのある内装計画 各階階高を4m以上確保した、ゆとりのある空間 	
<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> 節水コマなどの節水型器具の採用 地下ピットを利用した雨水利用計画 	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される